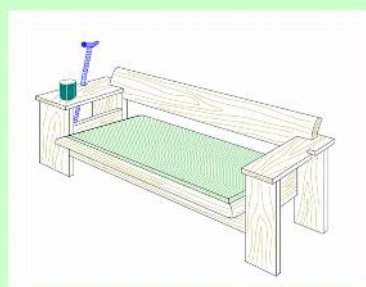


# 椅子シミュレータを活用した 高齢者用木製ベンチの開発

企画支援部



## 概要

座板や肘掛け、背板が、任意の位置に設定できて、座る人に最も適した位置を測定できる椅子シミュレータを活用して、高齢者保健福祉施設の高齢者が、活発に活動することやコミュニケーションの促進に役立つための、憩いの場を提供する高齢者用木製ベンチを開発しました。

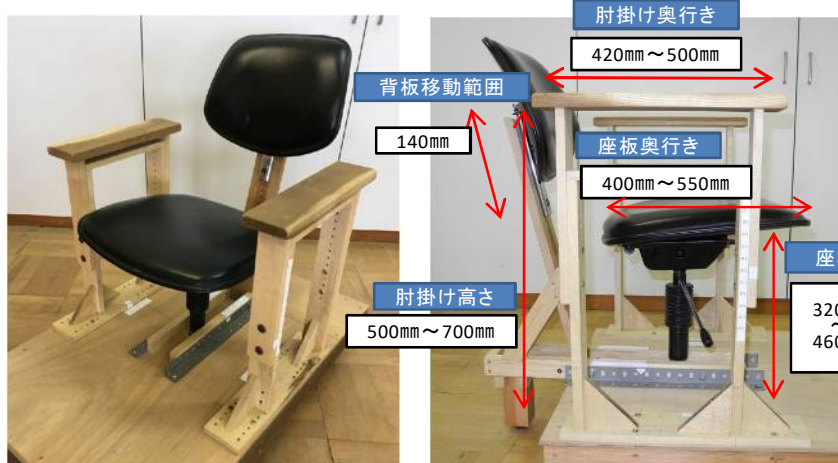


図1 椅子シミュレータ

図2 椅子シミュレータ可変範囲

## 椅子シミュレータ

椅子シミュレータ(図1)は、座板や肘掛け、背板が、任意の位置(図2)に設定でき、座る人に最も適した位置を明らかにできます。

座りやすく立ちやすい椅子のデザイン設計に役立つ測定機です。

## モニタリング



高齢者施設でのモニタリング風景。広い肘掛けには、コップを置いたり、杖を納める事ができます。畳に座りたい高齢者が多いので畳の座は好評です。

## 着座試験

椅子シミュレータで、30代~80代の27人で着座試験を実施し、座面などの適正位置を検討しました。

座りやすさに最も影響を及ぼしたのは、座板の高さ、次に背板の高さ、座板の奥行きについては、奥行きが短くてもさほど問題になりません。肘掛けについては、肘が肘掛けに接していれば、肘掛けの高低差や前後の位置はあまり気になりません。

足腰の衰えた高齢者にとっては、身体を支える肘掛けが重要であることが分かりました。



いちおし

足腰の衰えた高齢者が、安心して安全に座れ、広い肘掛けにはコップを置いたり、杖も納めることができ、くつろぎの場を提供できます。



キーワード

高齢者、木製ベンチ、椅子シミュレータ、着座試験、モニタリング

